

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2009-524340(P2009-524340A)

【公表日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-551199(P2008-551199)

【国際特許分類】

H 0 4 S 3/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 S 3/00 Z

G 1 0 L 19/00 3 3 0 B

G 1 0 L 19/00 4 0 0 Z

G 1 0 L 19/02 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月2日(2010.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マルチソースの空間情報を用いてソースマッピング情報を生成する段階と、
前記ソースマッピング情報にサラウンド効果を与えるフィルター情報を適用し、サブレンダリング情報を生成する段階と、
前記サブレンダリング情報を合成し、レンダリング情報を生成する段階と、
前記レンダリング情報を、前記マルチソースをダウンミックスして生成されたダウンミックス信号に適用し、前記サラウンド効果を有するサラウンド信号を生成する段階と、
を含むことを特徴とする信号処理方法。

【請求項2】

前記空間情報は、ソースレベル差及びソース間相関関係のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項3】

前記ソースマッピング情報は、前記マルチソースの各ソースに対応する情報であることを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項4】

前記サブレンダリング情報は、少なくとも二つの前記ソースマッピング情報に前記フィルター情報を適用して生成された情報を含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項5】

前記フィルター情報は、H R T Fフィルター情報と使用者の選択によって決定された値のうち少なくとも一方を含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項6】

前記フィルター情報は、生成された前記サラウンド信号のドメインの情報へとドメイン変換されることを特徴とする、請求項5に記載の信号処理方法。

【請求項 7】

前記フィルター情報は、前記 H R T F フィルター情報をパラメータに変換することによって生成されることを特徴とする、請求項 6 に記載の信号処理方法。

【請求項 8】

空間情報を用いてマルチソースのソースマッピング情報を生成するソースマッピング部と、

前記ソースマッピング情報にサラウンド効果を与えるフィルター情報を適用し、サブレンダリング情報を生成するサブレンダリング情報生成部と、

少なくとも一つの前記サブレンダリング情報を合成し、レンダリング情報を生成する合成部と、

前記レンダリング情報を、前記マルチソースをダウンミックスして生成されたダウンミックス信号に適用し、前記サラウンド効果を有するサラウンド信号を生成するレンダリング部と、

を含むことを特徴とする信号処理装置。

【請求項 9】

前記空間情報は、ソースレベル差及びソース間相関関係のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の信号処理装置。

【請求項 10】

前記ソースマッピング情報は、前記マルチソースの各ソースに対応する情報であることを特徴とする、請求項 8 に記載の信号処理装置。

【請求項 11】

前記サブレンダリング情報は、少なくとも二つの前記ソースマッピング情報に前記フィルター情報を適用して生成された情報を含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の信号処理装置。

【請求項 12】

前記フィルター情報は、H R T F フィルター情報と使用者の選択によって決定された値のうち少なくとも一方を含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の信号処理装置。

【請求項 13】

前記フィルター情報は、生成された前記サラウンド信号のドメインの情報へとドメイン変換されることを特徴とする、請求項 12 に記載の信号処理装置。

【請求項 14】

前記フィルター情報は、前記 H R T F フィルター情報をパラメータに変換することによって生成されることを特徴とする、請求項 13 に記載の信号処理装置。